

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

お互いを知り、交流を深めよう

蟹江町中学生・大宜味村交流事業

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020



平成 29 年度より大宜味村と交流を続けてきた愛知県蟹江町から 8 月 21 日（水）、蟹江中学生 8 名が大宜味中学校を訪れ、蟹江中学生・大宜味村交流事業が行われました。

長く行われてきた村と町との交流ですが、中学生同士の交流は今回が初。ドキドキの対面となりました。

まずは蟹江中学生から水郷の町と言われている蟹江町の概要やまつり、郷土料理から特産品やおすすめの店の紹介がされ、町内に 5 つある小学校の校歌の歌詞が一緒（最後の歌詞の〇〇小学校だけが違う）であることを教えてくれ、みんなで校歌を歌い盛り上げました。他にもまつりや蟹江合戦などの文化や歴史について紹介、蟹江町クイズも出され大宜味中学生との距離が縮まりました。

大宜味中学生からは村の 4 つのキーワードややんばるの生きもの、文化や特産品についての紹介やクイズ、中学校での活動や生徒会テーマについても紹介もされました。

お互いの町村を知った後はみんなでバーベキュー。一緒に美味しい肉や焼きそばに食べ、仲を深めました。その後プチ村内めぐりをし、交流会の日程は終了。お別れ式では蟹江町の生徒から「バーベキューは美味しかった。素敵な思い出ができた。ありがとう」と声があがりました。生徒会長の平良夏音さんは「交流会を通して自分たちの知らない村について知ることもできたし、蟹江町についても知れた。この交流会をこれからの学校生活に活かして頑張りたい」と話しました。最後にお互いの横断幕にこの日の感想や感謝の気持ちを寄せ書きをして伝えました。

大宜味村と蟹江町は 2022 年に観光協会間で相互協力に関する覚書調印式を行っており、お互いの自然や文化を活かした交流や特産品の消費拡大を図る活動を行っています。

おいしい給食ができるまで実感しようセンターのお仕事 給食センターお仕事体験

8月6日（火）、大宜味村学校給食センターにおいて「給食センターお仕事体験&黒糖アガラサーづくり」が開催されました。

昨年も大好評だった給食センターお仕事体験。今回は健康チェックから始まり、手洗いチェックをした後、黒糖アガラサーづくり、給食を作るまでの工程（野菜を洗う、選別、大鍋を使って調理、食缶に分配、コンテナを使って運搬、戻ってきた食器の洗浄など）の流れを体験しました。

手洗いチェッカーを使い、きれいな手になったことを確かめたら、最初のメインイベント、黒糖アガラサーづくり。準備された黒糖液に強力粉を少しずつ加え混ぜたら、生地ができます。その生地をマフィンカップに丁寧に分け入れ蒸し器で20分蒸します。

蒸している間にお仕事体験。班に分かれて食材を模したカラーボールを使い実際と同様に洗ったり、大きな釜の中で混ぜたり、決まった量を食缶に分けたり、給食ができるまでの工程と返ってきた食器の洗浄を体験します。今回はトラックにコンテナを詰め込む作業も体験しました。参加者からは「毎日、みんなのために作ってくれてありがとうございます」、「毎日しっかりと栄養管理がされている給食があることにとても感謝しています」と言った感想がありました。給食の大切さ、ありがたさを知る貴重な体験となりました。



やんばるに来たらヤバいあいつ、まずは知ろう、見よう グリーンアノール見つけ隊

8月7日（水）、漫湖公園において「グリーンアノール見つけ隊」が開催されました。

やんばるには生きものがいっぱいいるのに、わざわざ南部まで移動して、なぜグリーンアノール??と思うかもしれませんが、実はグリーンアノール、特定外来生物に指定されており、まだやんばるにはいませんが、もし侵入してきたらもともと住んでいる生きものたちの生息を脅かすとても恐ろしい存在になります。今回の観察会は万が一やんばるにグリーンアノールが入ってきた場合、やんばるに住む子どもたちがいち早く見つけられるようになり、やんばるの生きものを守る存在になってほしいという思いから開催されました。

知るためにはまず生きている個体を見ようということで、漫湖公園へ。ここにはたくさんいるらしく、午前中は日向ぼっこをしているので、日の当たる木の枝や葉の上を中心に公園内を歩いて探します。あちこち目を凝らしてみると…、見つけました！グリーンアノール。何か結構かわいい。でも、いたら良くない存在。

なぜいたらいけないの？何が恐ろしい存在になるの？と言った疑問を専門家の方たちから学びました。

少し難しい内容でしたが、まずはグリーンアノールを知れたこと、外来生物について自分が何ができるか考える機会になった観察会でした。



記録を狙え、ポイントはバランス ペットボトルロケット

8月1日（木）、大宜味小学校多目的室において大宜味おもしろ科学教室①「もっと飛ばそう！ペットボトル水ロケット2024」が開催されました。

昨年に引き続き開催されたペットボトルロケット。今年は何れくらいの記録が出るのか、誰が1番遠くまで飛ばせるか、すべては工作にかかってきます。500ml炭酸ペットボトル2本の胴体と牛乳パックのフィン、厚紙とおもりのノズルコーン（ロケットの頭 三角の部分）というシンプルなおもりのノズルコーン（ロケットの頭 三角の部分）というシンプルなロケット。

つくりは簡単ですが、遠くまで長く飛ばすためにはノズルコーンに入れるおもりの重さ、フィンの数やつける位置などバランスがとても重要になります。参加した子どもたちは試行錯誤しながらバランス良く、なおかつおしゃれで見栄えもいいロケットを作り上げました。

そしていよいよペットボトルロケット飛ばし大会。発射台からみんなの掛け声とともに次々に飛ぶペットボトルロケット。空高く勢いよく飛んでいくもの、低く早く真っすぐ飛んでいくもの、あらぬ方向に飛んでいくものなど個性豊かなロケットが誕生しました。

この日、一番ペットボトルロケットと飛ばしたのは4年生の宮城春杜さん。記録は60m40cm。小さいロケットながら素晴らしい記録です。楽しみながら学べた科学教室となりました。



見える？見えない？光の波って？不思議がいっぱい いろがわりステンドグラス

8月2日（金）、大宜味小学校多目的室において大宜味おもしろ科学教室②「いろがわりステンドグラス」が開催されました。

今回の科学教室のポイントは「偏光（へんこう）。光は波の性質を持っており、偏光とは電磁波（光や磁力）の波の振動方向が規則的になっていること。太陽の光や電球の光などの光はさまざまな偏光が混ざっているのですが、偏光フィルムを使うと一部の偏光を取り出すことができます。私たちの生活ではテレビや携帯電話の液晶画面やスポーツ用サングラス、カメラのフィルターなどに光を調整する道具として偏光フィルムが使われています。原理は難しいですが、見えたり見えなかったり、色が変わったり光の不思議を感じることであればOK。

手品のような実験を交えながら工作に取りかかります。セロハンテープの貼り方や重ね方にステンドグラスの色や形が変わります。貼っては見て貼っては好きな色や形を作る子どもたち。真剣な姿は職人のよう。ステンドグラスも個性も光る作品が仕上がりました！！



みんなでおおぎみ展に出展しよう！

スマホで撮ろう！私のやんばる参加者募集！

村民
大人対象
初心者大歓迎

知ると知らないとは大違い。スマートフォンにあるカメラ機能を駆使してこれまでとは一味違った写真を撮影しよう！！「やんばる」をテーマに写真を撮って、おおぎみ展に作品を出展しよう。
初心者でも安心。わからないことは何度でも聞いてください。初心者大歓迎。みんなで上等写真を撮ろう！

日時：10月5日（土） 10:00～12:00

場所：旧大宜味小つどい室

講師：平良卓己さん（株）スマイルフォトプラス

内容：スマートフォンのカメラの機能を紹介

「やんばる」をテーマに実際に外に出て写真を撮る

対象：村民（20歳以上）、先着10名 ※定員に達し次第、締め切り

参加費：100円（保険料）

持ち物：スマートフォン、水筒、帽子、タオル

申込方法：参加希望者は**9月27日（金）までに教育委員会に電話**で申込んでください。

連絡先：大宜味村教育委員会 ☎44-3006（担当：倉持）



↑スマホで撮影

～教育委員会 会議だより～ 会議で決定した事項をお知らせします。

第7回 教育委員会会議 令和6年7月25日（木）午後2時開催

＜審議事項＞

- | | | |
|--------|---------------------------|------|
| 議案第14号 | 大宜味村学校給食費等補助金交付要綱 | 《可決》 |
| 議案第15号 | 令和7年度使用小学校教科用図書の採択について | 《可決》 |
| 議案第16号 | 令和7年度使用中学校教科用図書の採択について | 《可決》 |
| 議案第17号 | 令和7年度使用特別支援関係教科用図書の採択について | 《可決》 |

図書室情報 No.61 2024年（令和6年）9月 大宜味村図書室（旧議会棟：村史編纂係内）
大宜味村字大兼久 157番地 0980-44-3009

新着図書

- 『蕾のままに散りゆけり』 上野かずこ著・悠人書院
- 『沖縄オバア列伝』 沖縄オバア研究会編・双葉社
- 『ウチナーンチュの貌』 東 邦定著・沖縄タイムス社
- 『現代語訳 論語と算盤』 渋沢栄一著・筑摩書房
- 『地雷グリコ』 青崎有吾著・KADOKAWA
- 『DIE WITH ZERO』 ビル・パーキンス著・ダイヤモンド社

●利用状況累計 ●

○来室者数…のべ3,483人	○8月の統計（8/27まで）
○貸出冊数…5,894冊	○来室者数…のべ59人
○登録者数…181人	○貸出冊数…68冊
	○現在の蔵書数…7,431冊

9月図書室カレンダー 閉室日：■

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

～図書のリクエスト受付中～

※年度内お一人5冊まで本のリクエストができます！沖縄県立図書館の本を取り寄せるサービスも利用できますので、お気軽にお声掛けください！！

ここがわんぱくカの見せどころ！ 令和6年度わんぱく体験団 第3弾「わんぱくCamp2024」

8月22日（木）～23日（金）、大國林道において令和6年度わんぱく体験団③「わんぱくCamp2024」が行われました。これまでずっとコロナ禍で開催できず、久々にできたと思った昨年も天候不良のため、改善センターでの開催となったわんぱくキャンプ。そして、ついに、やっとできました山でのキャンプ。これが本当にやりたかったキャンプです。

実は私たちも久々過ぎて感覚が戻っていき（スタッフも変わっているし）、講師の先生もいない中でのキャンプ。不安もありましたが、「なんくるないさ〜、1日くらい食べなくて、寝なくて死にはしない。大丈夫よ」と言い聞かせ（もちろん、そんな気持ちはみんなには内緒）、わんぱくキャンプスタートです。



毎回、口を酸っぱくして言っていますが、準備から片付けまで自分たちでやるのがわんぱくキャンプ。この日使う食器や調理器具を洗い、必要な数だけ準備、テントや机、水管など山で使う様々な道具も次々とトラックに乗せていきます。

キャンプ場は貴重な野生生物が生息する国立公園の一部なので、自然にも配慮しなければいけません。洗剤は使えないので、皿はラップを貼って使う、使った調理道具は山から下りてきてから洗うなどキャンプをする際の注意点や心構えを伝えます。さあ、覚悟ができれば山へ出発進行〜！！

キャンプ場は貴重な野生生物が生息する国立公園の一部なので、自然にも配慮しなければいけません。

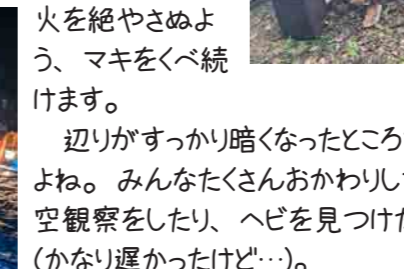
着いた場所は、本当に山の中。えっ、こんなところで??と思った団員もいたのでは？ はい、もう来てしまったよ。帰れないよ。みんなで力を合わせて頑張ろう！荷物を降ろしたら、次はテント設営。ちゃんと張らないと途中で崩れて寝ることもできなくなってしまいます。ここではすべてが自分たちの責任。自分のことは自分でします。



無事テントができれば、今度は炊事に使うマキ集め。小さい枝から大きな枝までとにかくたくさん集めます。大変でも面倒でもやらなきゃいけない。頑張れ！わんぱくたち。燃料が集まったら、いよいよごはんの準備です。

さあ、火起こしの時間です。これがなくてはご飯もカレーもできない。空気の通り道ができるように小さい枝から大きな枝まで上手に組み立て火を点けます。

火が点いたから安心してはいけません。火は育てるもの。お米が炊けるまで、カレーができるまで火を絶やさぬよう、マキをくべ続けます。



辺りがすっかり暗くなったところでやっと食事の時間。苦勞して作ったご飯は美味しいよね。みんなたくさんおかわりしていました。もちろん味もGOODでした。その後、星空観察をしたり、ヘビを見つけたり山ならではの体験をしわんぱくたちは眠るのでした（かなり遅かったけど…）。



翌日は炊事、片付けを済ませ、昨日かいた汗を流しに田嘉里川へ。あまり寝ていないはずなのに元気なわんぱくたち。あんなに高い砂防ダムから次々と飛び込んで川を満喫していました。朝炊いたごはんを食べたら1泊2日のキャンプは終了。みんなよく頑張った。たった1日でしたが一人一人の成長が見られるキャンプとなりました。

田嘉里は古琉球の頃から存在する古い集落で、元々は国頭間切に属していました。田嘉里と謝名城にまたがる根謝銘城には、屋嘉比ノ口が管轄する大城（ウフグスク）御嶽と城ノ口が管轄する中城御嶽があり、田嘉里川（屋嘉比川）には根謝銘グスク隆盛なりし頃の津（港）として屋嘉比港があったとされ、屋嘉比ノ口は『おもろまうし』（※1581年～1623年にかけて王府によって編纂された歌集）に謳われるほど位の高いノ口であり、屋嘉比杜から船の往来の目標になった赤丸崎、辺戸の安須杜から奥杜までを眺望するそのオモロからは、古琉球の時代の壮大なロマンが感じられます。

屋嘉比ウシンデークの起源については、「屋嘉比村には井水がなく人々が苦勞していたところ、耕作当（コウサクアタイ：営農指導の役人）の宮城某が、深山のミジタテ川（水源地）から水をひき、村人の不便解消に尽力した功績で琉球王より褒賞され、これを祝ってはじまった」という説や、「昔、喜界島の女が島の男との仲を父親に許してもらえず、島に立ち寄った山口の主に頼んで田嘉里まで逃れ、身籠っていた女はやがて赤子を生んだが、どんなに待っても夫は迎えに来ず、女は赤子を抱いたまま焦がれ死ぬという悲劇があり、その霊を慰めるために行なった」など諸説あり、いつ頃からはじまったかについては不明とされています。

ウシンデークの歌詞

- 1. 屋嘉比ウシンデーク
一、道端ぬサシヤ 袖振りばすがら
我身んサシなとってい 袖にすがら
二、アサギ庭の芥 誰がしぬくなちやが
わした乙女（美童）ぬ しぬくなちやナ
三、とれの伊平屋嶽や うちやがてい見ゆる
遊ていうちやがゆる 我玉黄金
四、石の頂 いぢやまい所
里がまい所 たまじまん
五、里や赤煙草 刻どってる食る
我身や焼煙草 肝どって焼くる
六、行きは伊計離り 戻る浜平安座
平安座乙女の ふさむやぬがし
七、あたい芋のながぐ 真白引ちまらち
大和める里が どってんす袴
八、平安座前の浜に スルル小やとん
スルル小やあらん 大和ミジュン
九、伊集の木ややかてい 真白花咲ちやい
我身ん伊集やとってい 真白咲かな
十、しば木植いてい置かば しばしばとっていもり
またき植いていうかば 又んいもり
十一、なりよなり産子 しとが家になり
ならなしよてい産子 やみな立ちやみ
十二、干瀬に居る鳥や 満潮恨みやい
我身や暁ぬ 鳥どって恨む

- 十三、真喜屋と真喜屋兼久 通いぼしやあしが
しらしぶり松ぬ 下ぬしげマ
十四、赤田首里殿内 黄金どって下ぎてい
うりが明がりは 弥勒世界報
十五、うくし七間切 きかの五間切
穴伊良部与論 花ぬ沖繩
十六、沖繩里主や 只や拝まらん
神が引合わしに 真面拝てい
十七、今日の誇らしやや 何にぎやな警る
ちばていをる花の 咲ちやる美らマ



「神人以和」のノボリが見える 1985（昭和60）年
※神人以和（しんじんいわ）物事がよく調和し互いに
関係を乱さなければ、自然と人は一つになれるの意



村史編さんだより

第161号 2024年9月1日 大宜味村村史編纂係44-3009



伝統を受け継ぐ 田嘉里のウシンデーク

旧盆明け初亥の日に行われるウガミ翌日の、8月28日（水）に、田嘉里ウシンデーク（ウスデーク）が行なわれました。元々は「屋嘉比のウシンデーク」として行われていたものを、田嘉里全体で取り組み受け継いできた伝統行事で、年々踊り手が少なくなり寂しくなったとの声も聞かれるなか、今年は15人の踊り手が参加しました。

踊りは若い女性から年配の婦人まで参加し、ムラの旧家である蔵下（クラサ：屋号）の前、アサギマー、ヤマグチマー（山口庭）、ヌドゥンチ（ノ口殿内）の順に踊りを奉納しながら進み、最後に蔵下の前に戻ります。

現在の衣装は全員が紺地（又は紫）に白の緋模様の着物、紫の帯と鉢巻きに手巾（ティサジ）を手に持って踊りますが、琉大民俗クラブの調査報告書には、年代別に細かく決まりがあったことが記されています。

10月12日（土）には豊年踊りも開催されますので、ぜひ足を運んでみてください♪

◎ウシンデーク衣装（琉大民俗クラブ『ひんぶん6号 大宜味村田嘉里調査報告』昭和47年）

Table with 3 columns: Age Group, Dress Description, and Accessories. Rows include: (1)15~20才, (2)20~30才代, (3)40~50才代, (4)60才以上.

※さらに、各々花織のマンサージを頭に被り、手に持ち、また(3)の中年の婦人は腰にも下げた。履物はなく全員裸足である。この年齢による区分は、戦後改められている



▲昔のウシンデーク（年代不明）



▲1985（昭和60）年のウシンデーク

40年前の年配のご婦人方は、ウシンデークの踊りが終わった後の公民館までの帰り道、各々の家の軒先で振舞われる自家製のカラキ酒や、たっぷりの氷砂糖で漬け込んだ甘いトクンプ（みかん）酒を飲み比べ、日頃のウサを晴らすかのように、酔っ払って楽しんだようです。男性や子ども達は、踊りが終わった瞬間から、酔っぱらったご婦人方に見つからないよう、三々五々草むらに隠れた一 という昔のご婦人方のパワフルさが感じられるエピソードが聞かれました♪



政信教育長のあじま～コラム

「名言から学ぶ」

パリオリンピックが終わりましたね。スポーツ観戦が趣味な私にとっては、淋しいようなほっとしたような気分です（夜中の観戦）。また、2024年夏の甲子園、県代表の興南高校は残念ながら1回戦敗退となり、その日以降の高校野球観戦の楽しみも半減しているところです。さて、長年、興南高校の監督を務めている我喜屋監督は、「小さなことに全力で取り組み、小さなことを確実にする子は間違いなく大きな仕事ができる」という名言を残しています。これは我喜屋監督が指導にあたり大切にしている考え方を表した言葉だそうです。監督の教え通り、日頃からチームの一人一人が小さなことを積み重ねた結果、興南高校は2010年春夏連覇を達成し、今や、強豪校として毎年、注目される学校になりました。以前、私の実家の近くに興南高校野球部の寮があったのですが、野球部の子どもたちが、毎朝登校前に、地域の清掃に繰り出し、地域の方に元気に挨拶をする風景によく出合いました。

また、「勉強一番、ゴルフ二番」と何よりも学校教育や地域の行事を優先させ、私たちヤンバルの誇りゴルフの宮里兄弟を育てたお父さんの、この言葉も一時期話題になりました。野球にしる、ゴルフにしる、どんなスポーツでも、2人の言葉や考え方から基本的な生活習慣や学問、躰が身に付いていることが重要なことだということに改めて感じました。スポーツで勝つという大きな目標を持つことはもちろん大切ですが、日頃から当たり前前にやるべきことに全力で取り組んでいくことが結果につながるのではないかと、思っています。

今月の生きもの

シロオビアゲハ：アゲハチョウ科

あぁ、おいしい♪やんばるのおうちは花を育てている人ががいっぱいだから、あちこちに吸蜜できる場所があって住みやすいわ。あっ、申し遅れました、私シロオビアゲハです。

後翅に白い斑点が列をなして翅を縦断する白い帯のように見えるからこの名がついたの。これから秋にかけて私の姿をよく見かけるはず。幼虫の食草はヒラミレモンやハマセンダンなどミカン科の植物。これも大宜味村にはたくさんあるから私たちは大助かり。やっぱり住みやすいわ大宜味村♪



🍷 9月の行事予定 🍷

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 2日（月）区長会 | 16日（月）敬老の日 |
| 6日（金）（小）授業参観 | 20日（金）（園）保育参観（小中）合同授業参観 |
| 8日（日）村陸上競技大会 | 21日（土）わんぱく体験団④ |
| 8（中）久志駅伝大会 | 22日（日）秋分の日 |
| 10日（火）トーチ | 23日（月）振替休日 |
| 12日（木）（小6）歴史平和学習 | 26日（木）定例教育委員会会議 |
| 14日（土）大保ダムまつり | 27日（金）交通安全推進村民大会 |

9月6日

生クリームの日

暑いです。とにかく暑いです。暑いのが好きだけど暑いです。いつもクーラーの効いた部屋で仕事をしているので、たまに作業で外に行くとびっくりするくらい汗をかきます。買っちゃおうかな、モーター付の作業着。とにかく一度着てみたいです。